

株式会社ミューチュアル

2006年3月期決算説明会

(決算短信補足資料)

2006.6.8

代表取締役社長 三浦 浩一

執行役員経理部長 榎本 洋

証券銘柄コード 2773

MUTUAL

将来の見通しに関する注意事項

本資料に掲載されている株式会社ミューチュアルの業績見通しについては、現時点で入手可能な情報に基づいた見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。

そのため、これらの業績見通しにのみ全面的に依拠して投資判断を決定することは避けるようお願いいたします。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご理解ください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、需給、世界情勢などが含まれます。

1 . 2006年3月期決算実績	P 4 ~ P 12
2 . 2007年3月期業績見通し	P 14 ~ P 17
3 . 会社概要	P 19 ~ P 21
4 . 事業概況	P 23 ~ P 26
5 . 市場環境と今後の経営戦略	P 28 ~ P 33
6 . 利益還元、資本政策	P 35

2006年3月期 実績

執行役員 経理部長 榎本 洋

2006年3月期決算総括

(単位:百万円)

	2005年3月期	前期増減率	2006年3月期(実績)	前期増減率
売上高	10,100	2.9%	8,063	20.2%
売上総利益	2,432	6.1%	1,520	37.5%
販売費及び一般管理費	1,546	2.1%	1,522	1.6%
営業利益	885	13.8%	1	-
経常利益	977	5.9%	141	85.5%
純利益	464	7.2%	46	89.9%

- ・米国子会社譲渡による減収、および全般に低調であり減収、減益
- ・一部取引で予定外の原価増
- ・販管費は全体として減少したが、今後に寄与する展示会費、サービス費は増加
- ・連結子会社も不振(ファーマリード・エンジニアリング株式会社、株式会社ウイスト)

要約損益計算書(連結)

(単位:百万円)

科目	2005年3月期			2006年3月期					
	上期	下期	通期	上期		下期		通期	
					前期比		前期比		前期比
売上高	3,968	6,132	10,100	3,542	10.7%	4,521	26.2%	8,063	20.2%
売上原価	2,947	4,721	7,668	2,836	3.7%	3,706	21.4%	6,542	14.7%
売上総利益	1,020	1,412	2,432	706	30.8%	814	42.3%	1,520	37.5%
販売費及び一般管理費	794	752	1,546	748	5.7%	774	2.9%	1,522	1.6%
営業利益	226	659	885	42	-	41	93.7%	1	-
営業外収益	81	29	110	71	12.6%	78	168.9%	149	35.6%
営業外費用	16	3	19	3	81.7%	3	-	6	66.8%
経常利益	290	687	977	25	91.2%	116	83.1%	141	85.5%
特別利益	0	167	167	1	-	0	-	0	-
特別損失	10	28	38	0	-	0	-	0	-
当期純利益	149	315	464	2	-	48	84.7%	46	89.9%
一株当り当期純利益(円)	25.87	-	78.97	0.30	-	-	-	5.90	92.5%
一株当り配当金(円)	-	-	15.00	-	-	-	-	15.00	-

- ・大手製薬会社の設備投資減で受注競争激化
- ・売上総利益率が24.1%から18.9%へ低下
- ・販管費は24百万円減少しているものの減収と利益率の低下により営業損失

要約貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

科目	期別	05年3月期	06年3月期	増減額	科目	期別	05年3月期	06年3月期	増減額
現金及び預金		2,742	2,766	24	支払手形及び買掛金		2,883	2,104	778
受取手形及び売掛金		3,796	2,931	864	短期借入金		-	89	89
棚卸資産		1,234	1,151	83	前受金		1,070	962	108
その他		1,211	825	386	その他		621	359	262
流動資産合計		8,985	7,675	1,309	流動負債合計		4,575	3,516	1,059
有形固定資産		820	763	56	固定負債合計		868	918	49
無形固定資産		24	22	1	負債合計		5,444	4,434	1,009
投資その他の資産		2,771	3,133	362	少数株主持分		240	239	1
固定資産合計		3,615	3,919	303	資本合計		6,915	6,921	5
資産合計		12,600	11,595	1,005	負債及び資本合計		12,600	11,595	1,005
		-	-	-	(有利子負債)		-	89	89

- ・売上債権・仕入債務の減少等により、総資産が1,005百万円減少
- ・株主資本は5百万円増加
- ・株主資本比率は54.9%から59.7%へ上昇
- ・投資その他の増加は362百万円
- ・短期借入金は89百万円(基本的には無借金経営)

財務データ分析

項目	期別	2005年3月期	2006年3月期
1、1株当り株主資本(円)		1,221. ⁸⁸	1,037. ⁸⁹
2、1株当り純利益(円)		78. ⁹⁷	5. ⁹⁰
3、1株当り配当(円)		15. ⁰⁰	15. ⁰⁰
4、株主資本比率(%)		54. ⁹	59. ⁷
5、流動比率(%)		196. ⁴	218. ³
6、ROE(株主資本利益率)(%)		6. ⁸	0. ⁷
7、総資本経常利益率(%)		8. ⁰	1. ²
8、PER(株価収益率)(倍)		11. ³	118. ⁶
9、PBR(株価純資産率)(倍)		0.73	0.67

参考(期末株価): 05年3月31日 890円 06年3月31日 700円

2004年5月20日 普通株1株を1.2株に分割 (963,000株増)
 2005年5月20日 普通株1株を1.2株に分割 (1,155,600株増)
 2006年4月1日 普通株1株を1.2株に分割 (1,386,720株増)

要約キャッシュ・フロー計算書

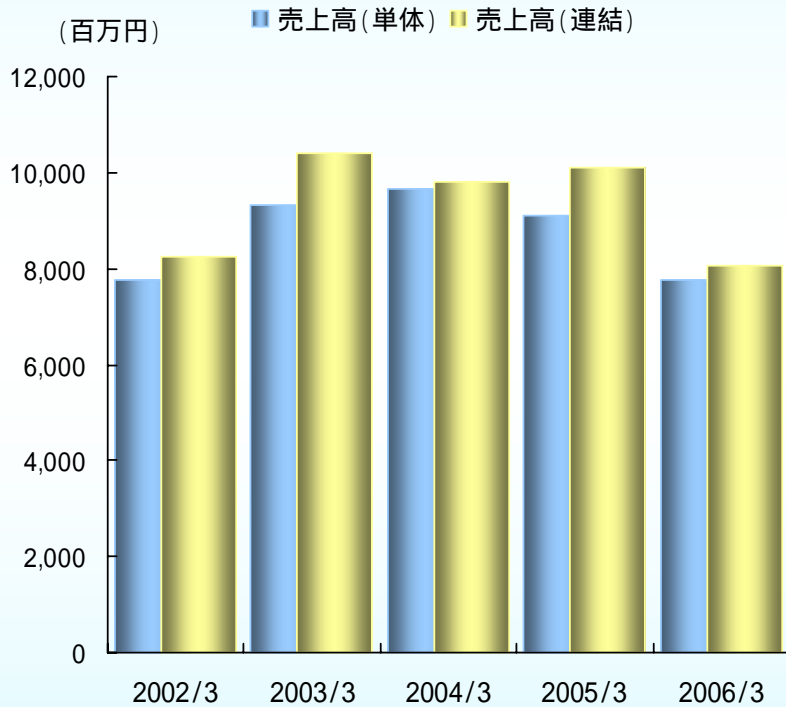
(単位：百万円)

項目	期別	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー		10	390	118
投資活動によるキャッシュ・フロー		608	340	232
財務活動によるキャッシュ・フロー		173	410	89
現金及び現金同等物の期首残高		3,881	3,031	2,658
現金及び現金同等物の期末残高		3,031	2,658	2,682

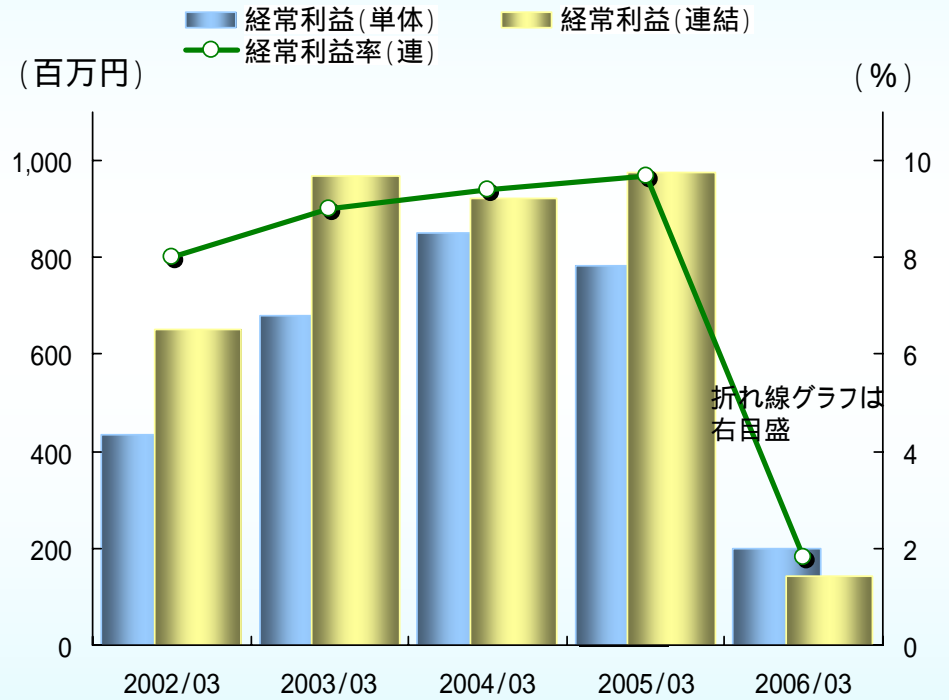
- ・営業活動によるキャッシュ・フローは仕入債務の減少778百万円、法人税等の支払367百万円など
- ・投資活動によるキャッシュ・フローは有価証券の償還449百万円など
- ・財務活動によるキャッシュ・フローは自己株式の取得96百万円など

売上高・経常利益

売上高の推移

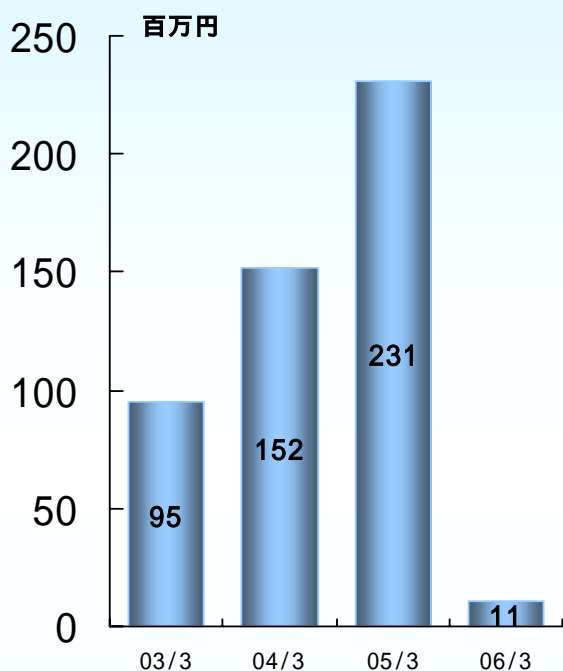


経常利益の推移

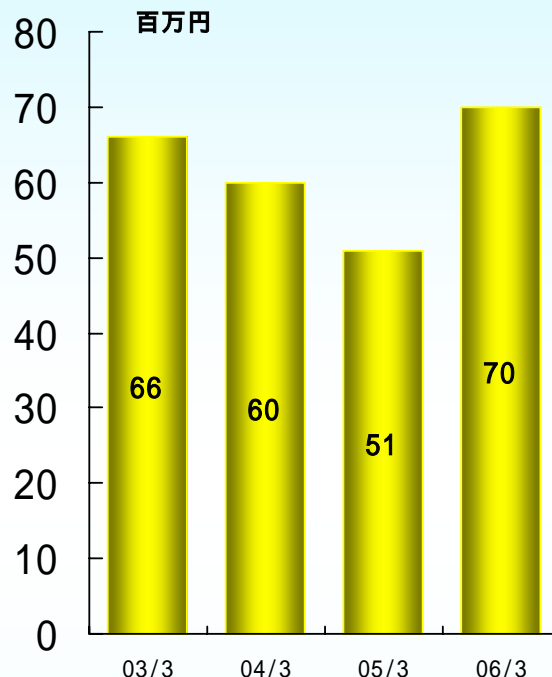


設備投資額 / 減価償却額 / 研究開発費

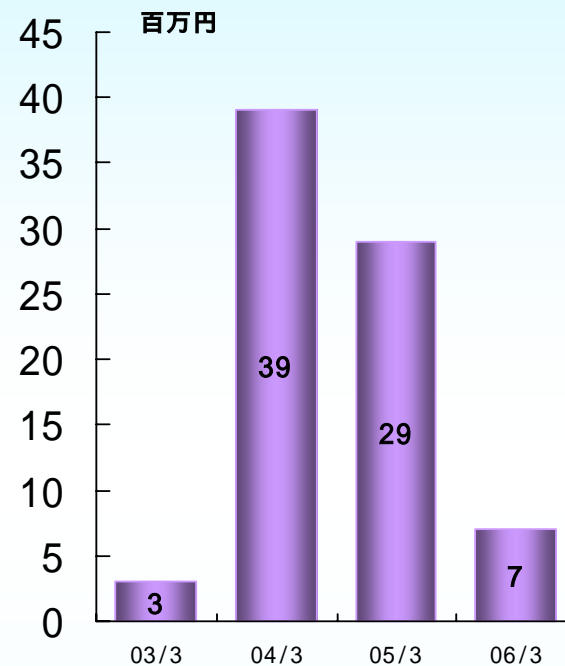
設備投資額の推移



減価償却額の推移



研究開発費の推移



(単位:百万円)

項目 \ 期別	03/3期	04/3期	05/3期			06/3期		
			上期	下期	通期	上期	下期	通期
設備投資額	95	152	3	228	231	6	5	11
減価償却費	66	60	19	32	51	34	36	70
研究開発費	3	39	18	11	29	4	3	7

設備投資
 東京技術センターの移転
 04/3期下期 土地購入
 05/3期下期 建屋建築
 研究開発費
 新規機械の開発

セグメント別売上構成比(1)

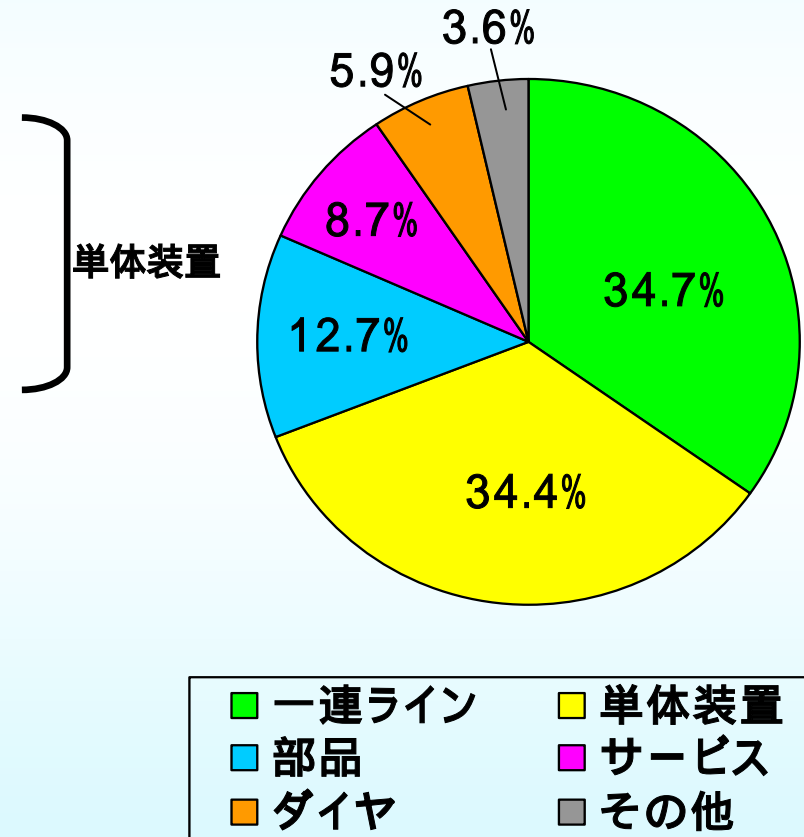
部門 / 機種別売上高の推移

(単位:百万円、%)

	2005/3	2006/3	前期比
一連ライン	2,926	2,800	4.3%
製剤機	1,587	626	60.6%
包装機	821	660	19.6%
充填機	1,325	735	44.5%
検査装置	428	752	75.7%
部品	1,151	1,023	11.0%
修理・改造・調整	1,017	702	30.9%
工業用ダイヤモンド	420	478	13.8%
その他	425	284	32.9%
合計(全体)	10,100	8,063	20.2%

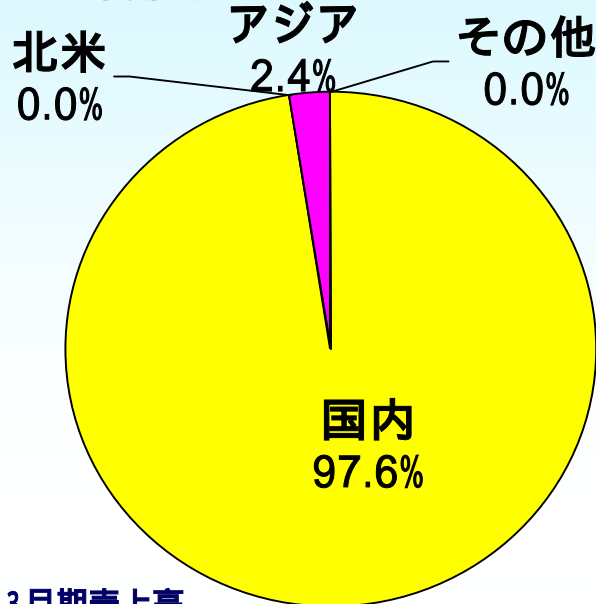
品目別売上高構成比

2006年3月期



セグメント別売上構成比(2)

地域別売上高構成比

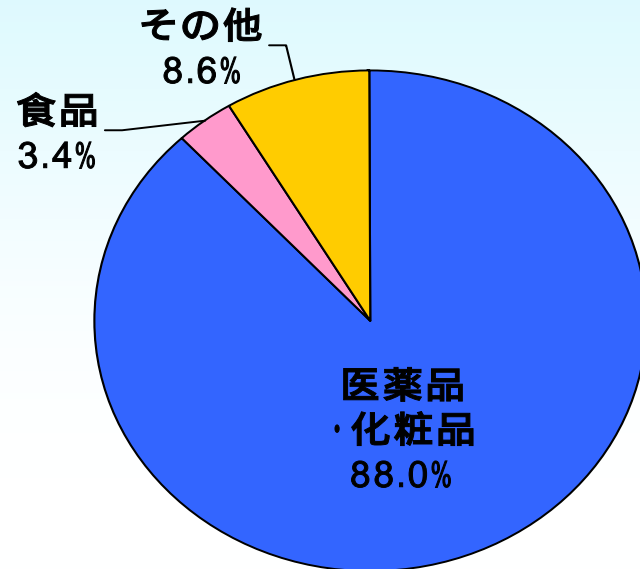


2006年3月期売上高

(単位:百万円、%)

地域	05/3	06/3	前期比
国内	8,740	7,867	9.9%
北米	1,165	2	99.8%
アジア	141	193	37.6%
その他	53	0	99.4%
合計	10,100	8,063	20.2%

業界別売上高構成比



2006年3月期売上高

(単位:百万円、%)

業界	05/3	06/3	前期比
医薬品・化粧品	9,342	7,092	24.1%
食品	202	276	36.6%
その他	556	695	25.0%
合計	10,100	8,063	20.2%

2007年3月期
業績見通し

2007年3月期見通し

(単位:百万円)

	2006年3月期(実績)	前期増減率	2007年3月期(予想)	前期増減率
売上高	8,063	20.1%	9,125	13.2%
売上総利益	1,520	37.5%	1,854	21.9%
販売費及び一般管理費	1,522	1.5%	1,496	1.7%
営業利益	1	—	358	黒字転換
経常利益	141	85.5%	395	178.5%
純利益	46	90.0%	185	295.9%

- ・営業利益は黒字転換
- ・受注残高は5,976百万円(前期末比23%増)
- ・強化している一連ラインの売上増
- ・低利益率案件は特になし
- ・販管費は削減
- ・株式会社ウイストは黒字化
- ・ファーマリード・エンジニアリング株式会社は設立2期目で体制固め

要約損益計算書(連結)

(単位:百万円)

科目	期別	2006年3月期(実績)		2007年3月期(予想)		前期比	
			構成比		構成比	増減額	増減率
売上高		8,063	100.0%	9,125	100.0%	1,062	13.2%
売上原価		6,542	81.1%	7,270	79.6%	729	11.1%
売上総利益		1,520	18.8%	1,854	20.3%	334	21.9%
販売費及び一般管理費		1,522	18.8%	1,496	16.3%	26	1.7%
営業利益		1	—	358	3.9%	359	黒字転換
営業外収益		149	1.8%	44	0.4%	105	70.4%
営業外費用		6	—	7	—	1	16.6%
経常利益		141	1.7%	395	4.3%	254	178.5%
特別利益		0	—	13	0.1%	13	—
特別損失		0	—	—	—	—	—
当期純利益		46	0.5%	185	2.0%	139	295.9%
一株当り当期純利益(円)		5.90	—	23.14	—	17.24	292.2%
一株当り配当金(円)		15.00	—	15.00	—	—	—

- ・売上高:一連ライン増収(2.8億円 3.5億円) 包装機増収(6.6億円 8.5億円) 海外向け3億円増収
- ・営業利益:黒字転換

セグメント別売上構成比(1)

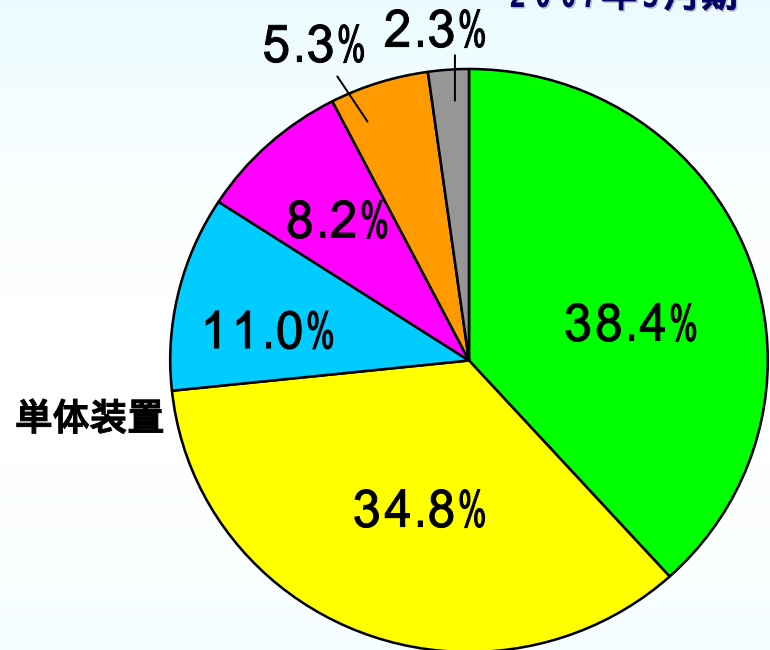
部門 / 機種別売上高の推移予想

(単位:百万円、%)

	2006/3	2007/3	前期比
一連ライン	2,800	3,500	25.0%
製剤機	626	700	11.8%
包装機	660	850	28.8%
充填機	735	830	12.9%
検査装置	752	800	6.4%
部品	1,023	1,000	2.3%
修理・改造・調整	702	750	6.7%
工業用ダイヤモンド	478	480	0.4%
その他	284	215	24.6%
合計(全体)	8,063	9,125	13.2%

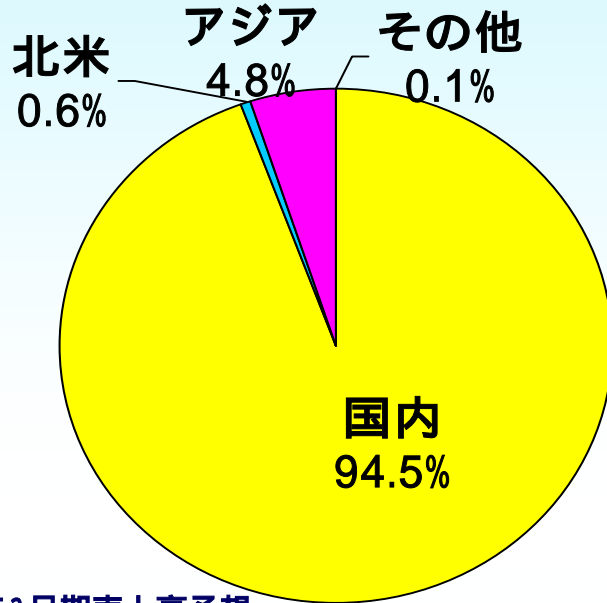
品目別売上高構成比予想

2007年3月期

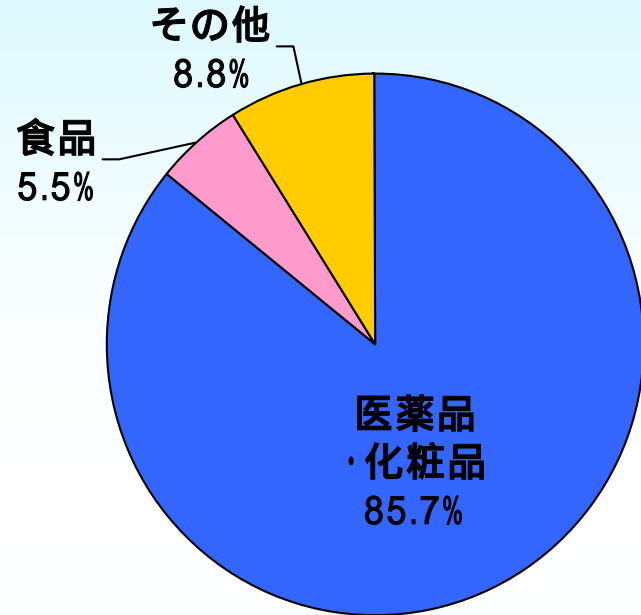


セグメント別売上構成比(2)

地域別売上高構成比(予)



業界別売上高構成比(予)



2007年3月期売上高予想

(単位:百万円)

地域	06/3	07/3	前期比
国内	7,867	8,625	758
北米	2	50	48
アジア	193	440	246
その他	0	10	10
合計	8,063	9,125	1,062

2007年3月期売上高予想

(単位:百万円)

業界	06/3	07/3	前期比
医薬品・化粧品	7,092	7,825	733
食品	276	500	224
その他	695	800	105
合計	8,063	9,125	1,062

会社概要

代表取締役社長 三浦 浩一


会社概要

社名	株式会社ミューチュアル
会社設立	昭和24年(1949年)2月14日
代表者	代表取締役会長 三浦 隆 代表取締役社長 三浦 浩一
本社	大阪市北区天神橋7丁目1番10号
資本金	6億6970万円
社員数	124名【連結】 110名【単体】
関係会社	3社
上場	2003年6月12日ジャスダック証券取引所 証券コード2773

事業内容

主として、医薬品業界、化粧品業界向けの製剤・包装関連設備を中心とした産業機械等の改良・製造・販売のほか、工業用ダイヤモンドの販売、包装資材の製造・販売等

沿 革

- 
- | | |
|----------|------------------------|
| 昭和24年02月 | 株式会社ミューチュアル・トレーディング設立 |
| 昭和28年05月 | 工業用ダイヤモンドの輸入販売業務を開始 |
| 昭和36年10月 | 国内での包装機械販売業務を開始 |
| 昭和38年05月 | 東京事務所（現：東京支店）を開設 |
| 昭和44年03月 | LAMP社との合併で日伊包装株式会社を設立 |
| 昭和53年04月 | 静岡出張所（現：静岡営業所）を開設 |
| 昭和57年02月 | 大阪技術センターを開設 |
| 昭和58年04月 | 社名を株式会社ミューチュアルに変更 |
| 昭和59年11月 | 米国ニュージャージー州にU・M・I社を設立 |
| 昭和62年09月 | 福岡出張所（現：福岡営業所）を開設 |
| 昭和62年11月 | 東京技術センターを開設 |
| 平成06年07月 | 株式会社ウイストを設立 |
| 平成11年02月 | 会社設立50年 |
| 平成15年04月 | 富山営業所を開設 |
| 平成15年06月 | （現）ジャスダック証券取引所に上場 |
| 平成15年06月 | 資本金6億6970万円に増資 |
| 平成17年04月 | 株式会社ファーマリード・エンジニアリング設立 |
| 平成18年03月 | コリアパック出展 |

社 是

私たちは、社業を通じて、社会の発展に寄与し「共存共栄」をモットーとしてお取引先・株主・社員の豊かな未来を目指します。

ミューチュアル = “ 互いに協力する共存の精神 ”

お取引先の立場になって考え、行動し多彩なユーザー・ニーズを満たすことで共に発展・繁栄する事を喜びとしております。

社員一人一人が自らの人格を磨き、助け合い力を合わせて会社の発展に尽くすと共に社会に貢献する事で企業としての存在価値を見出し、又各人の幸福を追求してゆくことを念じているのであります。

事業概況

事業内容

専門分野に特化した

技術 商 社

“ Made in International ”



情報

自動省力化機械
(国内外)

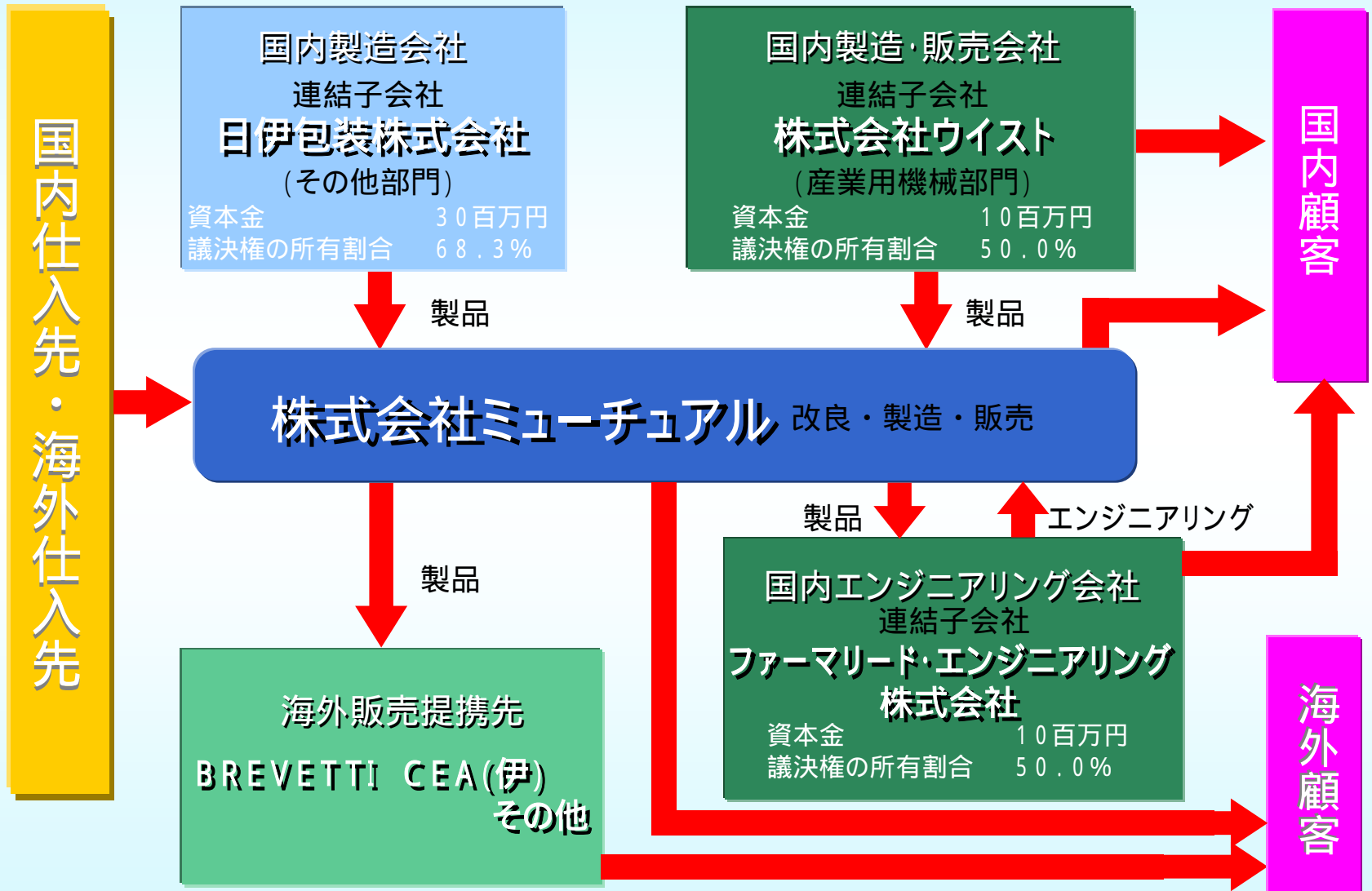
エンジニアリング

医薬品業界(87%)

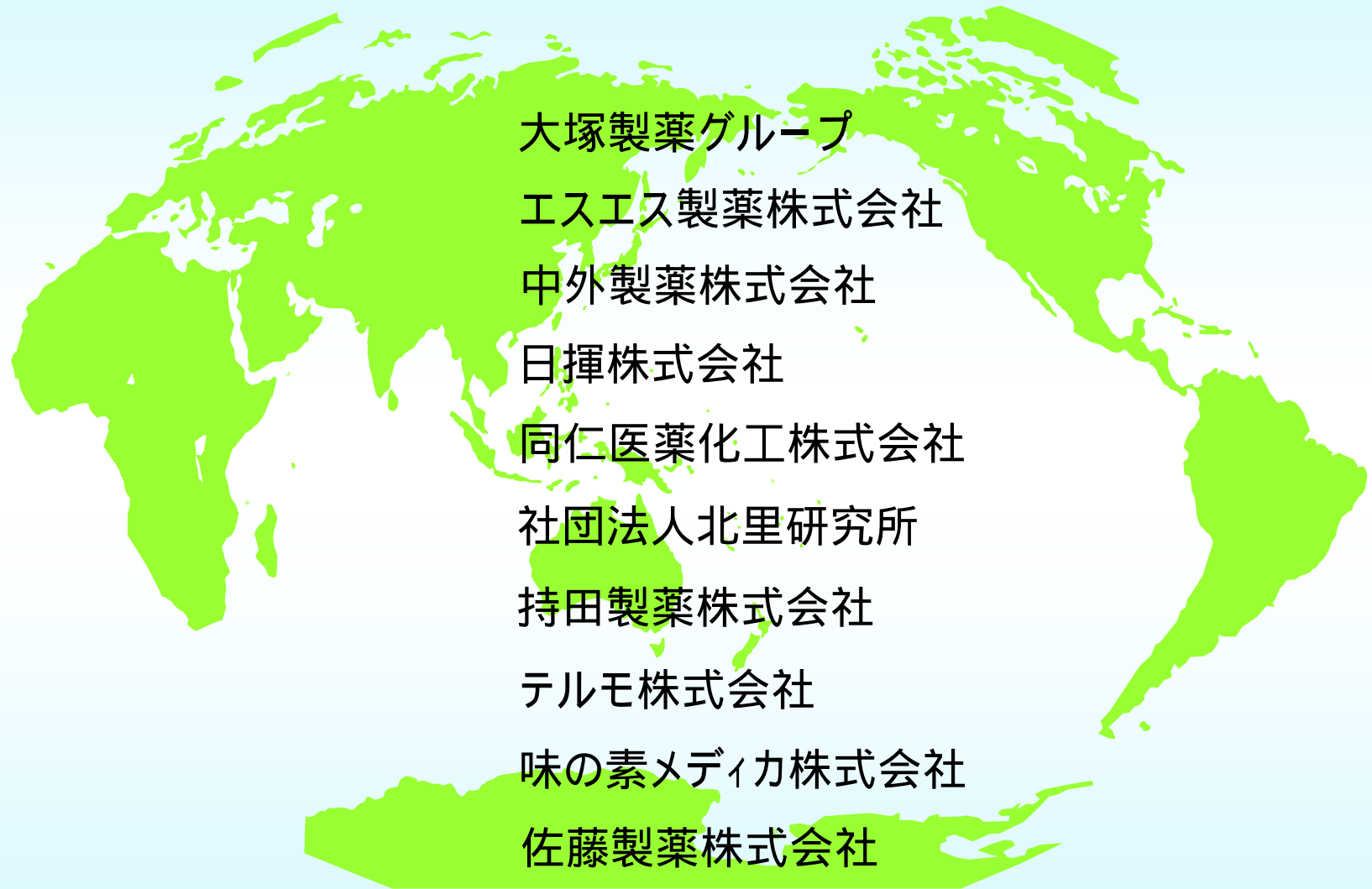
化粧品業界(9%)

食品業界(4%)

グループ概要



主要顧客



大塚製薬グループ

エスエス製薬株式会社

中外製薬株式会社

日揮株式会社

同仁医薬化工株式会社

社団法人北里研究所

持田製薬株式会社

テルモ株式会社

味の素メディカ株式会社

佐藤製薬株式会社

(直近3年間上位10社)

主要取扱い機械メーカー



市場環境と 今後の経営戦略

市場・業界環境と当社の対応

大きく変わりつつある医薬品業界

- 大手製薬会社の合併・提携による業界再編が加速
- 薬事法改正に基づく製造委受託の進行
- サプリメント市場の急速な拡大



当社の方向性・スタンス

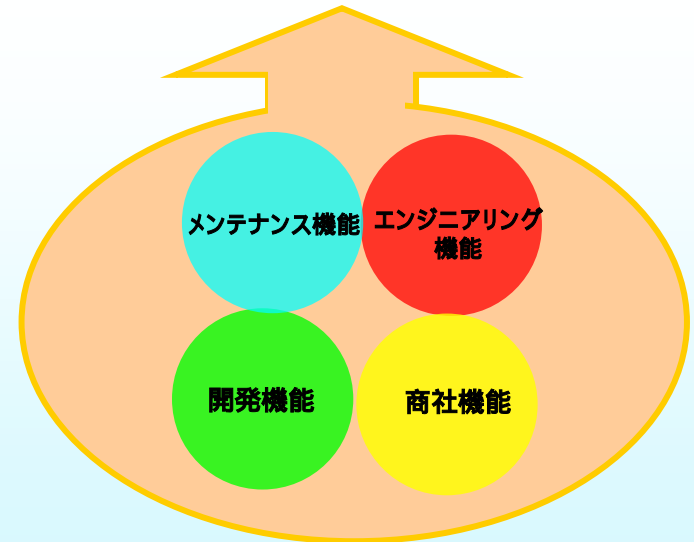
エンジニアリング力の強化
技術サービス力の育成
新製品の市場投入による製品・品揃えの充実
海外市場展開のネットワーク・拠点の構築
メンテナンス部門の拡大

規模のメリット

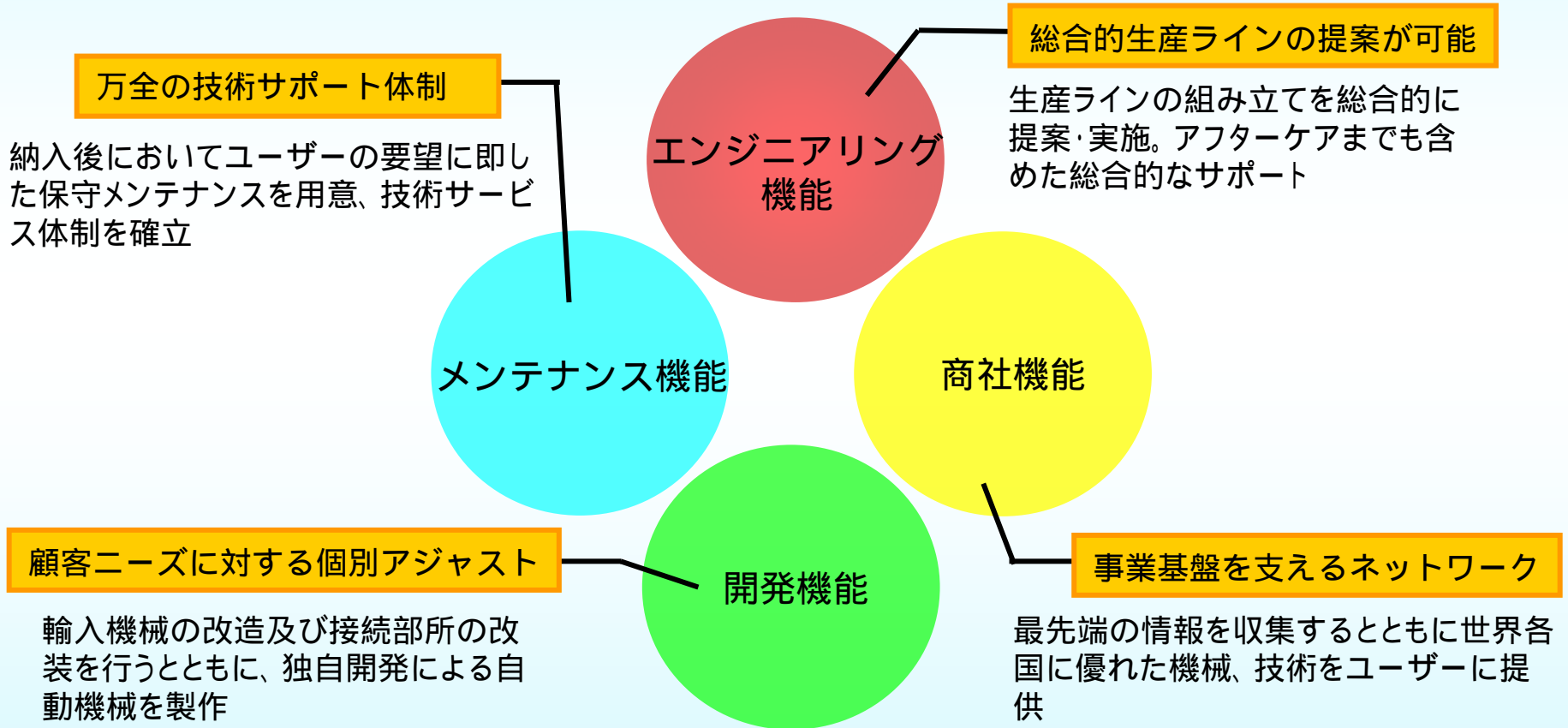
事業分野の絞込み

機能単位の事業再編

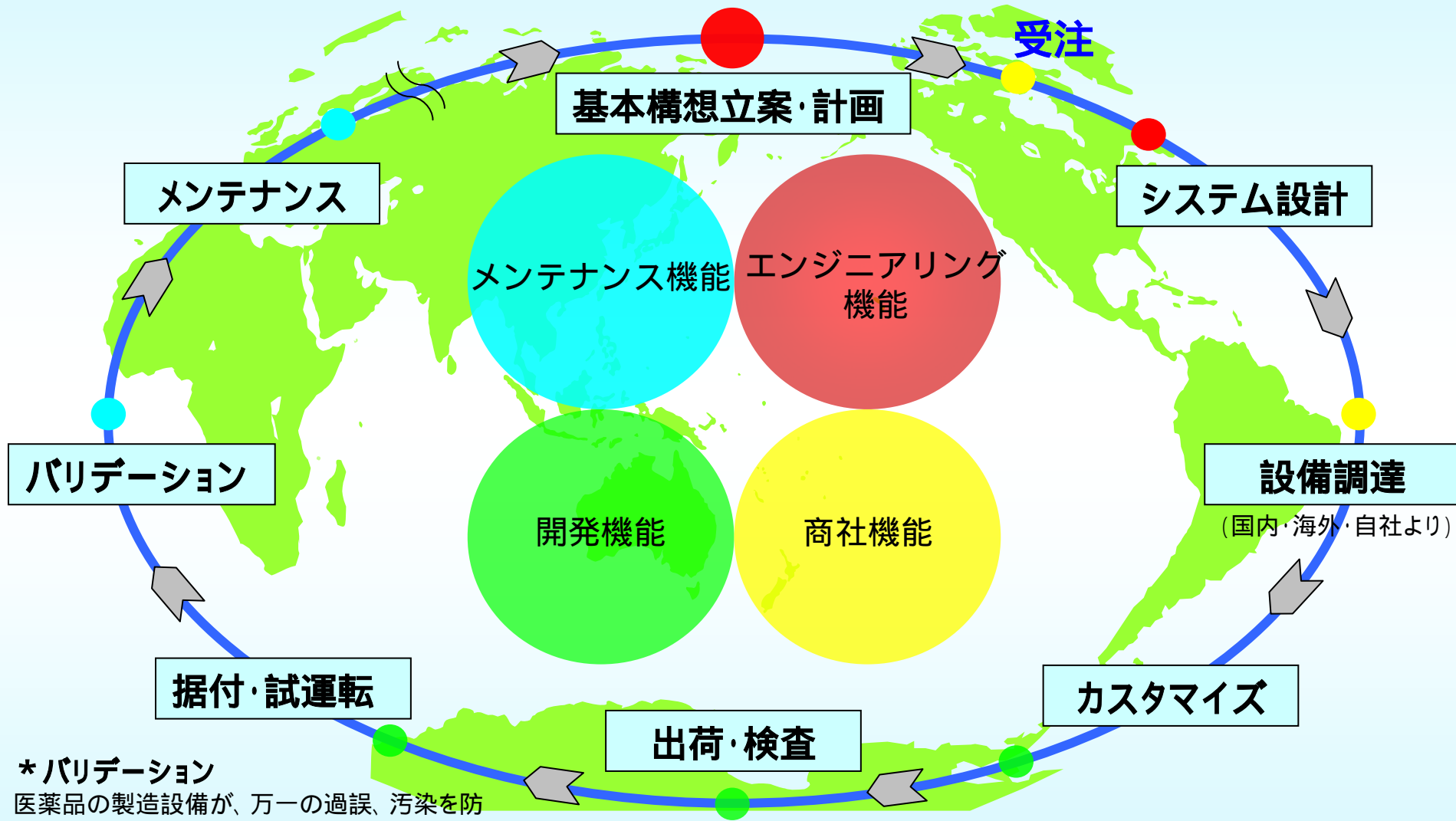
総合的サポートが可能なプロフェッショナル集団



4つの機能の総合力で多様な顧客ニーズに応える



一連ライン受注の流れ

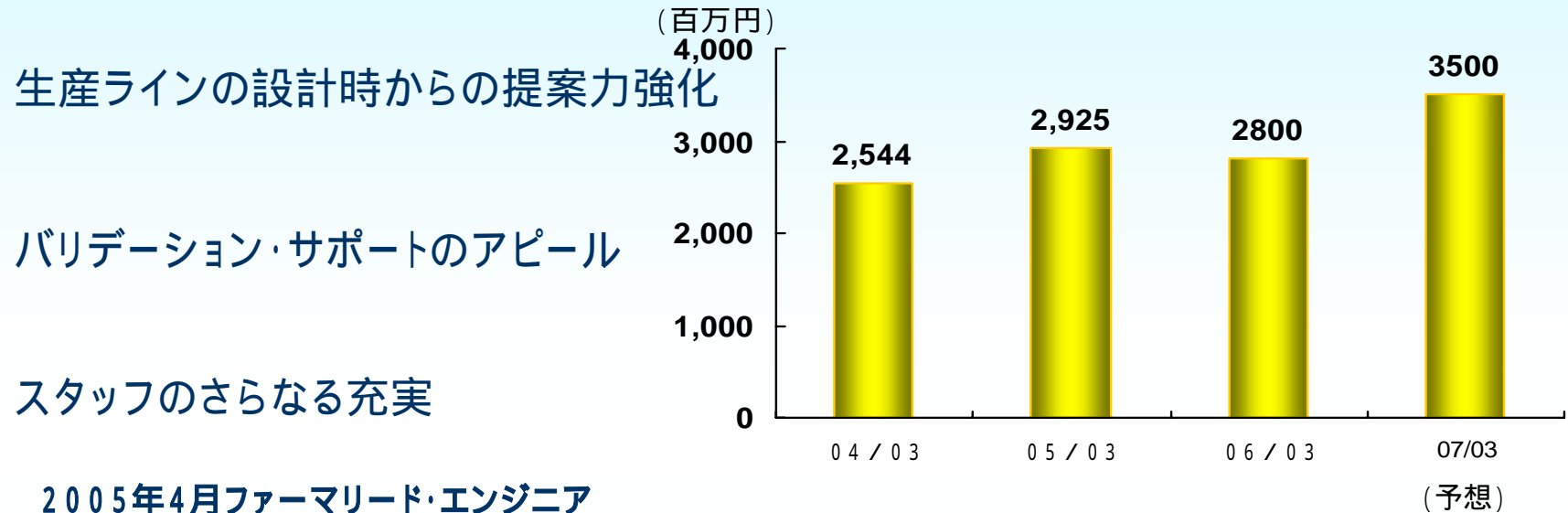


*バリデーション

医薬品の製造設備が、万一の過誤、汚染を防ぐための基準を満たしているかどうかの手順をドキュメント化し検証する

一連ラインの受注拡大

一連ラインの売上高推移



2005年4月ファーマリード・エンジニアリング株式会社を設立

(在阪大手製薬会社の生産技術研究所の中心的スタッフ8名が独立)

(例) 注射剤包装一連ライン



海外市場への積極的参入

国内メーカーの優れた機械を海外に輸出

- ・世界的に需要が高まっている高精度検査機を展開
- ・アジア「韓国、インド、タイ等」市場への積極的な拡販

海外メーカーとのタイアップを強化

- ・IMA社、BREVETTI社との提携

海外ネットワークの整備

- ・欧米両市場の拠点を選定中
- ・自社製作の新型包装機の米国市場への参入

海外展示会に積極的な出展

2005インターパック(ドイツ開催)



2006コリアパック(韓国開催)



メンテナンス分野の充実

総合的生産ラインのアウトソーシングに対応

エンジニアリング機能を活用した
フォロー体制の拡充

顧客満足度向上のため
サービス部門の更なる充実

メンテナンス風景



生産設備のメンテナンス要員を必要としている中堅医薬品メーカーを
ターゲットにし、保守点検契約の更なる獲得を図る

(契約実績)	契約数	契約金額
2005 / 3月期	47件	64百万円
2006 / 3月期	87件	147百万円

利益還元、資本政策

利益還元・資本政策

(1) 配当状況

年度	03 / 3期	04 / 3期	05 / 3期	06 / 3期
配当金	10円	15円	15円	15円

(2) 配当性向

年度	03 / 3期	04 / 3期	05 / 3期	06 / 3期
配当性向(%)	11.0	14.6	11.8	101.7

* 内上場記念配当5円含む

(3) 自己株式の取得

2004年11月～2005年3月 890百株
2005年8月～2006年3月 1,099百株 (2,715百株)

(4) 単元株の変更

1000株から100株へ変更 (2005年10月1日より実施)

(5) 株式の分割

2004年5月20日 普通株1株を1.2株に分割 (963,000株増)
2005年5月20日 普通株1株を1.2株に分割 (1,155,600株増)
2006年4月1日 普通株1株を1.2株に分割 (1,386,720株増)

ミューチュアル決算説明会にご参加し
て頂きありがとうございました

お問い合わせ先

株式会社ミューチュアル

取締役総務部長 住中秀和

TEL:06 - 6351 - 3521

FAX:06 - 6357 - 6105

E-MIL:info@mutual.co.jp